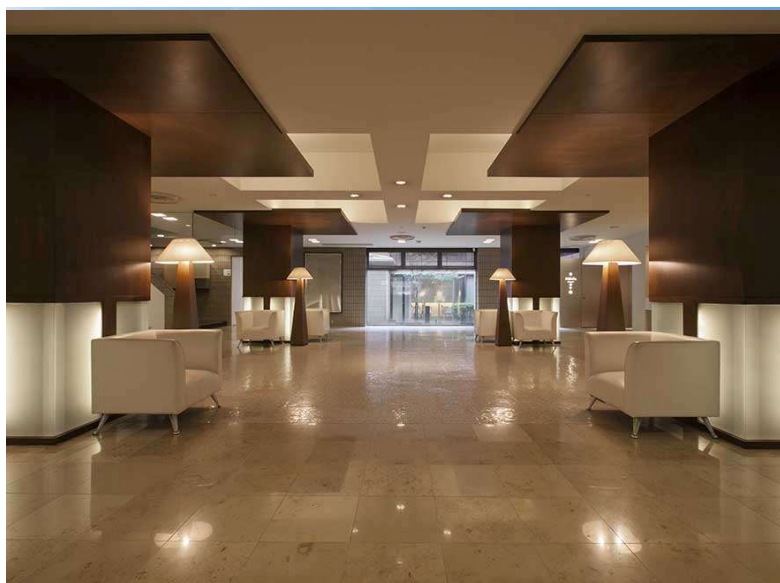


2023年度
(2023年7月～2024年6月)

環境経営レポート



株式会社 千 草

2024年9月10日発行

目 次

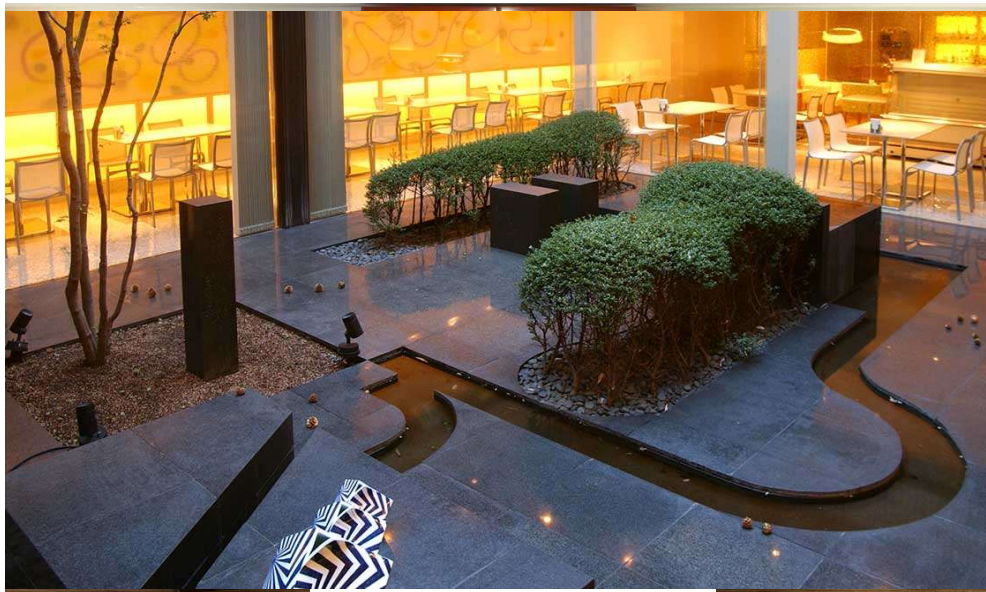
Corporate Profile 2023	1
1. 事業の概要	5
2. 組織図および実施体制	6
3. 環境経営方針	7
4. 環境経営目標	8
5. 環境経営計画	9
6. 環境経営計画の結果とその評価	10
6-1 二酸化炭素排出量・使用電力量の削減	11
6-2 総廃棄物排出量の削減	13
6-3 食品廃棄物の再生利用等実施率と発生量	14
6-4 水使用量の削減	16
6-5 カフェ・ミュゼ	16
6-6 SDGsへの取り組み	17
7. 次年度の環境経営計画の内容	19
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果 及び違反・訴訟等の有無	19
9. 代表者による評価	19

Corporate Profile 2023

- 社名 (Name) 株式会社 千草 Chigusa Co.Ltd
- 住所 (Address)
〒805-0061 福岡県北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL (093)-671-1131 FAX (093)-661-3155
URL www.chigusa.co.jp E-mail hotel@chigusa.co.jp
- 設立 (Founded) 1941年1月
- 資本金 (Capital) 5,000万円
- 売上高 (Sales) 8.6億円 (2023年6月30日現在)
- 従業員数 (Employees) 140名 (2023年6月30日現在)
- 事業内容 (Business Summary)
ホテル 結婚式場 レストラン
Management of hotel, wedding halls, and restaurants

Corporate History

- 1941/01 千草旅館創業
Foundation of Japanese style inn Chigusa
- 1946 現在地に移転
Moved to current location
- 1973/01 株式会社千草ホテル設立
Foundation of Chigusa Hotel Co.ltd
- 1985/08 千草商事株式会社設立
Foundation of Chigusa Trading Co.ltd
- 2000/03 株式会社千草設立
Affiliation of Chigusa Hotel &Chigusa Trading



「千草」という社名には雑草のような、たくましい生命の力が込められています。
株式会社千草は、やさしさのうちに時代を超えて生き抜く力強さを培っていきます。

Corporate Philosophy

私たちは、ホテル事業とその関連事業の展開によって
お客様に心からご満足をいただけることを願っています。

そのためにはまずは、社員一人一人が
明るく健康で生き生きとしていなければなりません。

社員こそまさに千草の生命力です。

そこで

私たち千草は「社員第一主義」を経営理念の基本とし
人と自然にやさしい会社をたくましく発展させることによって
より豊かな地域社会の実現に貢献していきます。

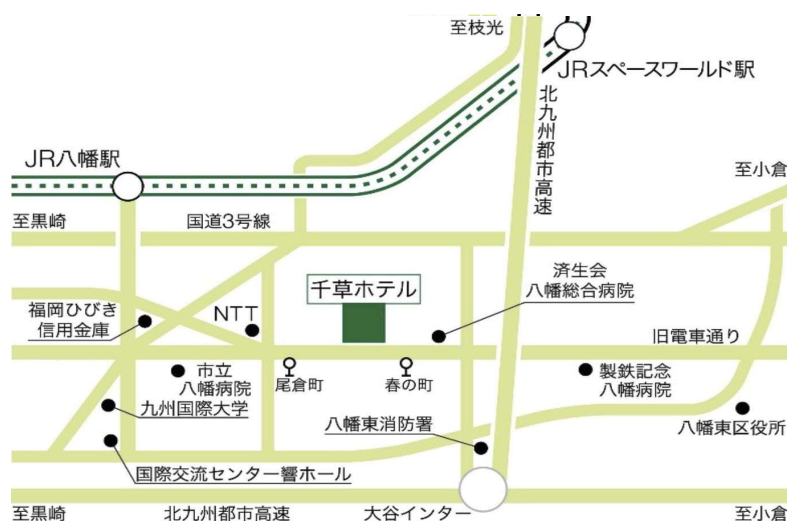


千草ホテルは、1914年創業の料亭「千草」を母体とした北九州の老舗ホテルです。料亭時代からの食の伝統と現代アートの両方が楽しめる個性的なホテルとして、現在にいたるまで多くの著名人や作家、美術関係者の方々にご利用いただいております。

本館は1980年代の建築様式であるポストモダンを彷彿とさせる造りで、1985年に北九州市建築文化賞を受賞しています。館内は大塚孝博のデザインによって、ラグジュアリー感のあるモダンな空間になっています。ロビーやレストランなどに国内外の現代アート作品が並び、和室は、料亭時代からの受け継いだ数寄屋造りに現代アートを組み合わせた和モダンスタイルです。

お食事は懐石料理、割烹料理、フレンチ料理など四季折々の新鮮な素材を使い、季節ごとに味わっていただける食事処が多彩に揃います。
近隣には、北九州市立美術館、響ホール、いのちのたび博物館など多くの施設があり、観光・ビジネスに最適です。

Access



■交通 電車/JR鹿児島本線八幡駅下車、徒歩10分
車/九州自動車道八幡ICより北九州都市高速へ入り
大谷IC ⇒ 出口を出て直進し、信号3つ目を左折

■駐車場 乗用車の駐車場(屋内および屋外) 収容台数:100台 無料

Corporate Profile 2023

■クリエイティブ部門

□ドレス・ノッツェ

国内外のブランドからセレクトしたウエディングドレスやカクテルドレス、婚礼和装などを揃えた貸衣装店



ドレス・ノッツェ



サロン・ド・キラ

□ヘアメイク サロン・ド・キラ

ブライダルや成人式のためのヘアセットやメイク、エステなどのヘア・エステサロン



イマージュ

□フォトスタジオ イマージュ

ブライダルを中心に、お宮参り、七五三、成人式、記念日などの映像・写真撮影のスタジオ

■レストラン部門

□カフェ・ミュゼ

北九州市立美術館にある軽食、喫茶のレストランテナントとして入っている。



カフェ・ミュゼ

1. 事業の概要

1. 事業所名 株式会社 千 草
代表者氏名 代表取締役 小嶋 亮

2. 対象事業所 本社及び千草ホテル カフェ・ミュゼ

3. 所在地 本社・千草ホテル 北九州市八幡東区西本町1丁目1-1
カフェ・ミュゼ 北九州市戸畑区西鞆ヶ谷町21-1

4. 環境管理責任者 武部 和之
担当者氏名 武部 和之
連絡先 TEL 093-671-1131
FAX 093-661-3155
Eメールアドレス k-takebe@chigusa.co.jp

5. 事業の内容 ホテル・結婚式場・レストラン・貸衣裳業

6. 事業年度 7月1日～翌年6月30日

7. 事業の規模

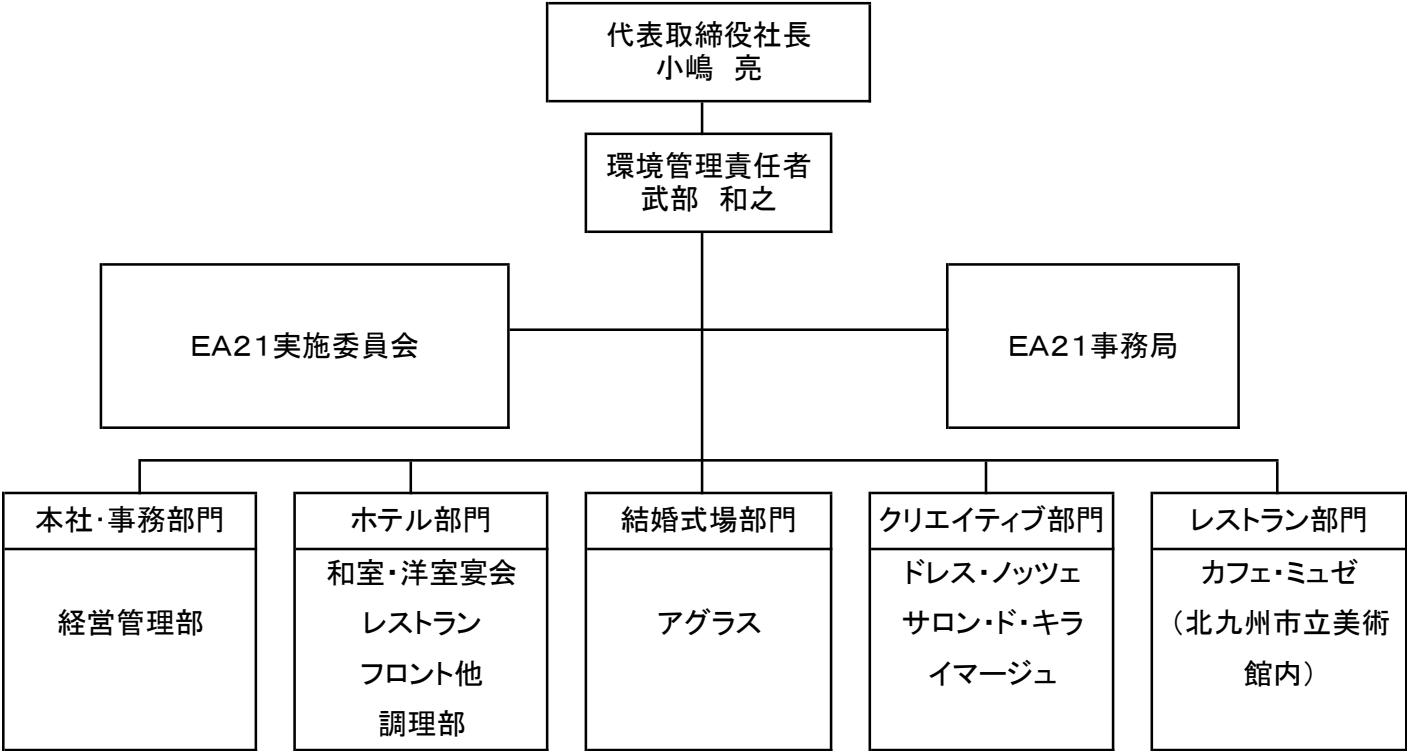
	単位	2021年度	2022年度	2023年度
		2021年7月～ 2022年6月	2022年7月～ 2023年6月	2023年7月～ 2024年6月
売上高	百万円	630	685	752
従業員数	人	120	120	120
床面積	m ²	8,299	8,299	8,299

* 数値はホテルと本社とカフェ・ミュゼの合計です。

8. 認証登録範囲 本社及び千草ホテル カフェ・ミュゼ
(2025年度に鞆ヶ谷ガーデンアグラスを認証登録範囲に拡大予定)

2.組織図および実施体制

会社組織図及びEA21実施体制



役割分担表

所属(役職)	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役社長)	全体の統括、環境方針の設定、環境経営システム運用のために必要となる経営資源の用意、全体の評価と見直しをする
環境管理責任者	全体の把握、環境経営システムの構築・運用、代表者に状況を報告する
EA21実行委員会	1回/月開催し、環境目標の達成状況・活動計画の実行状況を審議する
EA21事務局	EA21文書および記録類の作成・維持・監理
本社・事務部門	本社・事務部門のEA21の遂行を統括する
ホテル部門	ホテル部門(調理部以外)のEA21の遂行を統括する
レストラン部門	レストラン部門のEA21の遂行を統括する
クリエイティブ部門	クリエイティブ部門のEA21の遂行を統括する
ホテル部門	ホテル部門(調理部)のEA21の遂行を統括する

3. 環境経営方針

環境経営方針

株式会社 千草は、「ホテル事業とその関連事業を通じて、人と自然にやさしい会社を、たくましく発展させることによって、より豊かな地域社会の実現に貢献する」を経営理念に掲げ、全従業員が事業活動のあらゆる面で、地球環境に影響を与えていることを自覚して、世界の環境改善に貢献します。

1. 環境経営システムを構築し、以下の事項を環境目標として設定し、継続的な改善を推進します。
 - (1) 使用エネルギーの節約による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 一般廃棄物の削減
 - (3) 食品廃棄物の100%リサイクルの推進と発生量の削減
 - (4) 節水による水の使用量の削減
 - (5) 料理・サービスの環境面での改善
2. 環境関連法令およびその他の要求事項を順守します。
3. 環境保全活動に対して、行政機関等に協力すると共に、地域社会の活動に対し積極的に参画し、社会貢献活動を推進します。
4. 従業員に必要な教育訓練・社内広報活動の実施により、全ての従業員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する意識を高め、社内における環境保全の向上を図ります。
5. 「持続可能な社会」実現に向けて、SDGsの取組を推進します。

2007年11月1日制定

2021年10月1日改定

株式会社 千 草

代表取締役社長 小嶋 亮

4. 環境経営目標

2023年度の環境経営目標を以下に示します。（表－1）

なお、環境経営目標は、活動当初数年間は売上高当たりの原単位を用いていましたが、現在はより当社の環境負荷の状況を表している総量を用いています。

2018年度の実績を基準値とし、2023年度も基準値の3%削減を目標としました。

表－1 環境経営目標の推移

環境経営目標	2018年度実績（基準値）	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量（kg）	753,243	730,646 3%削減	730,646 3%削減	730,646 3%削減
使用電力量(kWh)	1,187,235	1,151,618 3%削減	1,151,618 3%削減	1,151,618 3%削減
都市ガス（m ³ ）	39,643	38,454 3%削減	38,454 3%削減	38,454 3%削減
重油（L）	35,720	34,648 3%削減	34,648 3%削減	34,648 3%削減
総廃棄物排出量（kg）	32,722	31,740 3%削減	31,740 3%削減	31,740 3%削減
食品廃棄物の再生利用等実施率（%）	100%	100%	100%	100%
水使用量（m ³ ）	18,080	17,538 3%削減	17,538 3%削減	17,538 3%削減
料理・サービスの環境面での改善		地産地消により輸送コスト削減に努める		

- 基準値は、2018年度の実績を用いました。
- 電力の二酸化炭素排出係数は、九電の2017年度調整後排出係数0.463kg-CO₂/kWhを用いました。
- 化学物質は使用していません。

5. 環境経営計画

2023年度の環境経営計画を以下に示します。

5-1 二酸化炭素排出量・使用電力量等の削減

- ① クールビズ・ウォームビズの順守
- ② 部屋退出時の空調・照明OFFの徹底
- ③ エアコンの設定温度の遵守（表-2）

表-2 設定温度

設定温度	5月～10月	11月～4月
宴会場	25℃	24℃
調理場	25℃	20℃
事務所	28℃	20℃

- ④ 電力デマンド機器による最大電力のコントロール
- ⑤ 空調機器、厨房機器の毎月のフィルター掃除
- ⑥ トイレの便座の温度設定と夏季のOFF
- ⑦ 宿泊部屋のお湯ポットはコンセントを外しておく

5-2 総廃棄物排出量の削減

- ① ペットボトル、ビン、缶、段ボール、雑がみ（雑誌、新聞、パンフ等）の分別とリサイクル
- ② 重要書類のトイレットペーパーへのリサイクル

5-3 食品廃棄物のリサイクルの推進と発生量の削減

- ① 生ごみと一般ごみの分別の徹底
- ② 水切りペールによる生ゴミの水切りの徹底
- ③ 生ごみのたい肥へのリサイクル
- ④ 食廃油の化学製品へのリサイクル
- ⑤ 千草フードシステム（CFS）活用によるメニュー作成
- ⑥ 冷蔵庫・冷凍庫の整理整頓による在庫管理

5-4 水の使用量の削減

- ① 食材解凍時の流水の節水
- ② 食器洗浄機のこまめなスイッチのON,OFF
- ③ 蛇口、配管等の水道設備のメンテナンス

6. 環境経営計画の結果とその評価

今年度も前年度同様に、新型コロナウイルスの影響を受け、売上高は5年前の基準年（2018年度）の約73%と大幅に減少しました。

結果、多くの環境経営項目は目標を大幅に達成しましたが、今年度の数値も前年度同様イレギュラーと言わざるを得ません。（表-3）

なお、環境負荷は季節変動が大きいので、実際の活動は3カ月ごとに月間目標を設定し、達成率70%未満の場合は是正措置を取ることとしました。

表-3 環境経営目標とその結果

環境経営目標	2023年度		
	目標	実績	達成率
二酸化炭素排出量 (kg)	730,646	674,356	108%
使用電力量(kWh)	1,151,618	1,120,845	103%
都市ガス (m³)	38,454	33,831	114%
重油 (L)	34,648	26,000	133%
総廃棄物排出量 (kg)	31,740	31,925	99%
食品廃棄物の再生利用等実施率 (%)	100%	100%	100%
水の使用量 (m³)	17,538	18,183	96%

電力の二酸化炭素排出係数は、九電の2017年度調整後排出係数0.463kg-CO₂/kWhを用いました。



エアコンの設定温度の表示



ECO活動の注意書き

6-1 二酸化炭素排出量・使用電力量の削減

新型コロナウイルスによる売上高の減少により、電力、都市ガス、重油使用量はすべて大きく減少し、二酸化炭素排出量は108%の達成率でした。（表-3）

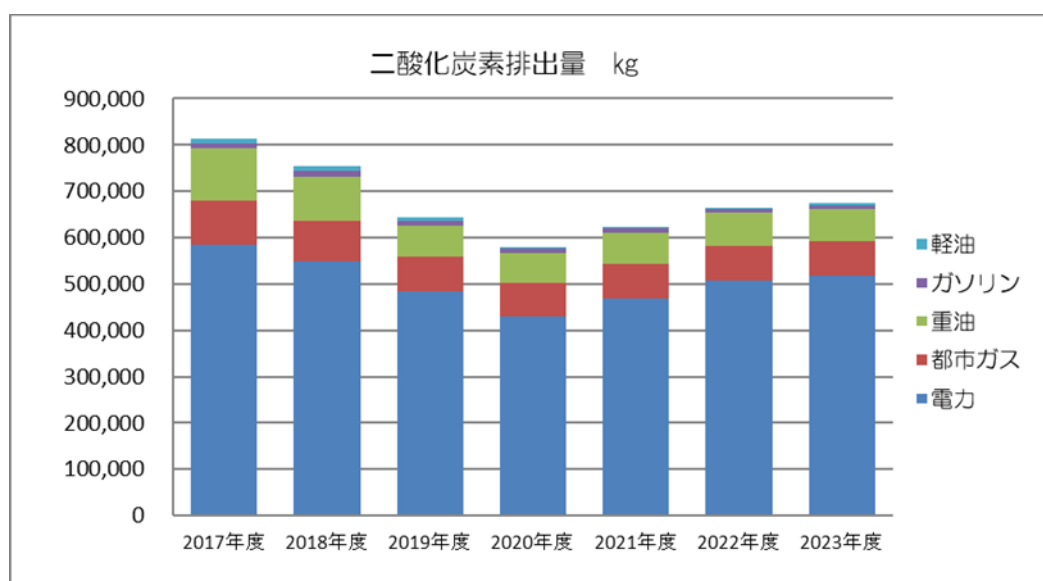
二酸化炭素排出量は、新型コロナの影響が出始めた2019年度より大きく減少し、2017年度を100とすると、今年度は83に激減しています。（表-4）

エネルギー別の二酸化炭素排出量は、電力が77%、都市ガスが11%、重油が10%（2022年度）と割合は毎年変わらず、二酸化炭素排出量の削減には、電力の削減が最も効果的です。（図-1）

表-4 二酸化炭素排出量の推移

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量 (kg)	813,089	753,243	644,172	579,698	622,456	665,073	674,356
	100	93	79	71	77	82	83

図-1 エネルギー別の二酸化炭素排出量



使用電力量も、新型コロナの影響が出始めた2019年度より激減しており、2017年度を100とすると、今年度は897となっています。（表-5）

表-5 使用電力量の推移

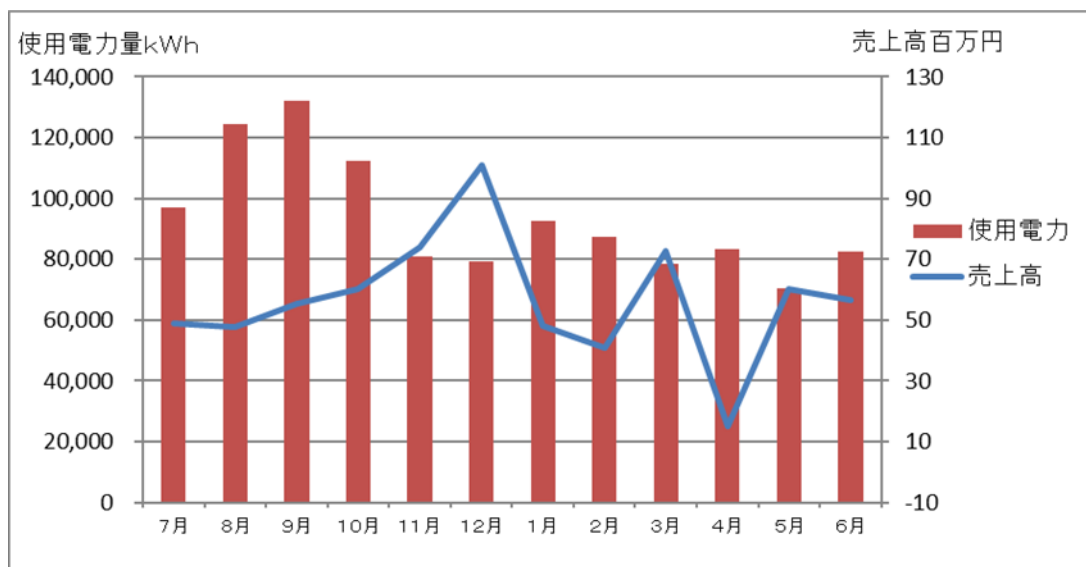
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
使用電力量(kWh)	1,264,776	1,187,234	1,047,579	931,701	1,012,636	1,093,767	1,120,845
	100	94	83	74	80	86	89

当社の主力事業であるホテルは、夏冬が閑散期で春秋が繁忙期です。
毎年の傾向として、売上高と使用電力量は必ずしも連動せず、例年売上高の少ない7、8月に使用電力量が最大になり、暖房よりも冷房が大きく影響しています。（図-2）

最大需要電力（デマンド）も7月から9月に発生しています。デマンドの発生日は、当日の気候および宴会予約状況でほぼ予測ができます。

デマンドを下げることは、電力料金の削減に大きな効果があります。

図-2 使用電力量と売上高（2023年度）



デマンド機器



空調室外機への散水



空調室外機への散水（拡大）

6-2 総廃棄物排出量の削減

総廃棄物排出量は、達成率115%と目標を大きく上回りました。（表-3）

総廃棄物排出量は、新型コロナウイルスの影響が出始めた2019年度より大きく減少していたが、2017年度を100とすると今年度は95にとどまった。（表-6）（図-3）

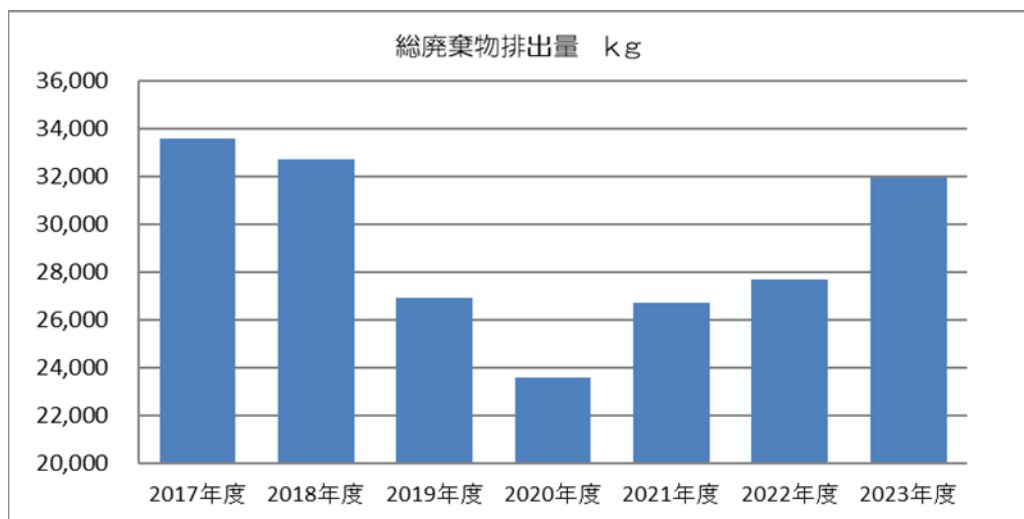
総廃棄物の内訳は、焼却処分される「一般ごみ」とリサイクルされる「ビン類」ですが、総廃棄物の98%を占める「一般ごみ」がなかなか減りません。

対策として、現状のペットボトル、ダンボール、書類等の分別とリサイクルに加えて、雑がみ（チラシ、空き箱、紙切れ等）のリサイクルを推進しています。

表-6 総廃棄物排出量

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総廃棄物排出量(kg)	33,581	32,722	26,938	23,580	26,713	27,683	31,925
	100	97	80	70	80	82	95

図-3 総廃棄物排出量



ゴミと資源の分け方のポスター



ホテルのゴミステーション

6-3. 食品廃棄物の再生利用等実施率と発生量

2016年度より食品廃棄物処理業者と提携して、すべての食品廃棄物をたい肥にリサイクルしています。結果、食品廃棄物の再生利用等実施率は8年前から100%を達成しています。

食品廃棄物の発生量も順調に減少しており、2016年度の24.8トンから、前年度は5.8トン、今年度は7.3トンと新型コロナウイルスの影響が大きく、激減しています。

(表-7) (図-4)

水切りペールによる生ゴミの減量と食廃油のリサイクル（年0.7トン）は、EA21の活動を始めた時から行っています。

又、受付での予約、調理でのメニュー作成、バンケットの宴会報告を社内ネット化した「干草フードシステム（CFS）」により、メニューごとの食べ残し具合をデータ化しています。そのデータを活用して、お客様のニーズに合った内容、量のメニューを作成して、食品廃棄物を削減しています。（図-5）

表-7 食品廃棄物の再生利用等実施率と発生量

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
食品廃棄物再生利用等実施率（%）	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
食品廃棄物の発生量	24.2トン	22.0トン	12.6トン	5.2トン	4.3トン	5.8トン	7.3トン

図-4 食品廃棄物の再生利用等実施率と発生量

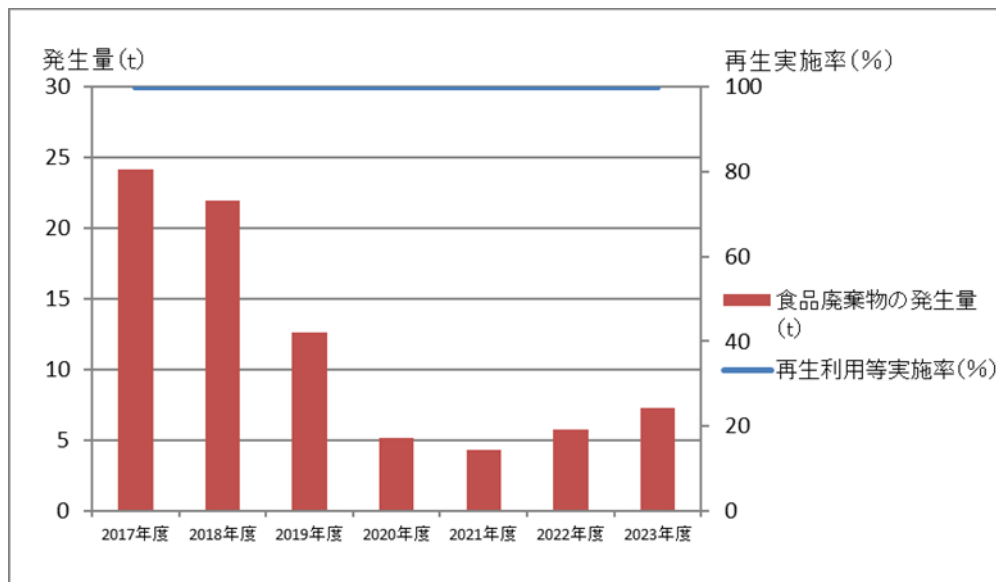
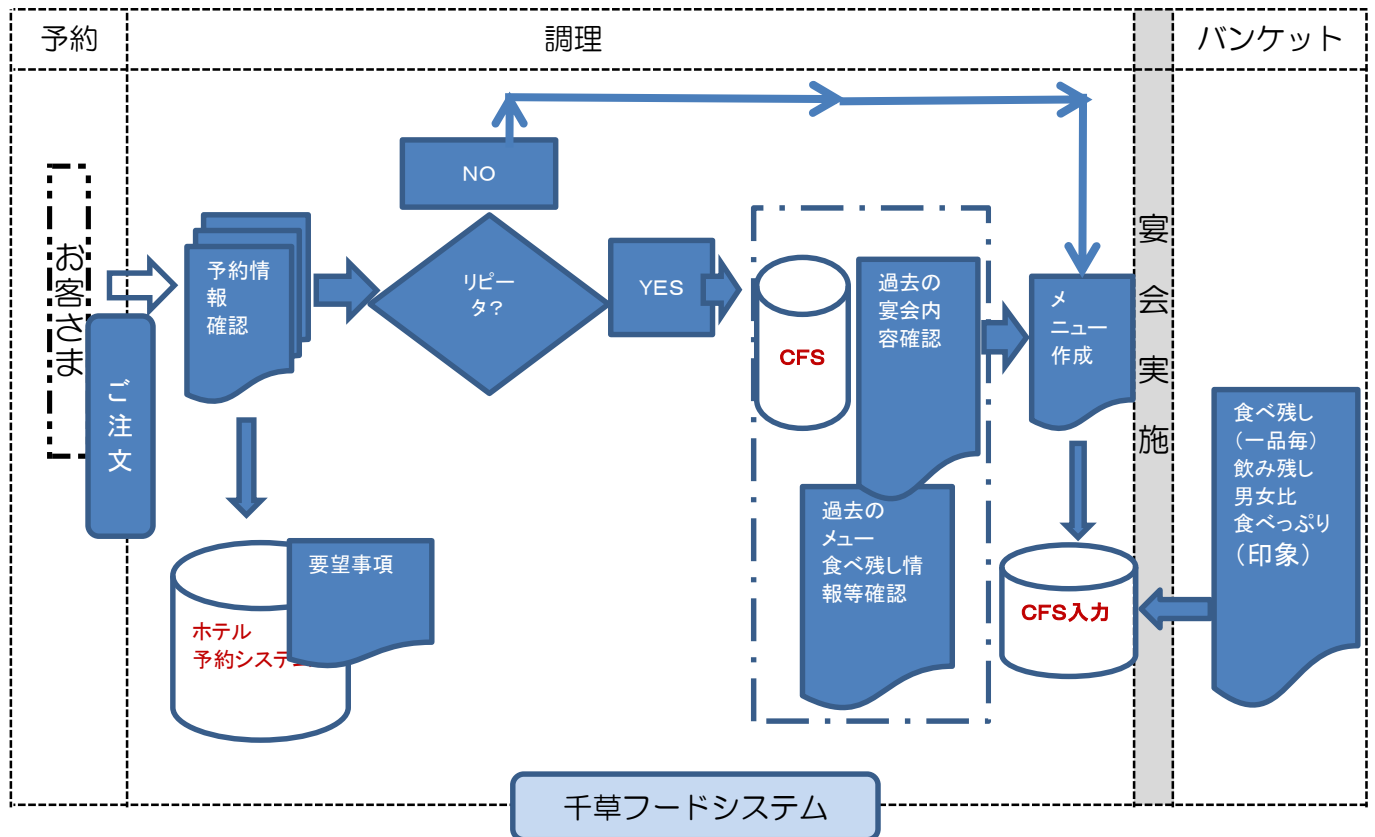


図-5 千草フードシステム(CFS)



- お客様からのご注文・要望はすべてシステムに入力
- 調理がメニューをシステムに入力
- 宴会終了後、バンケットが料理1品ごとに残り具合をシステムに入力
- 次回、リピーターの場合は前回の食べ残しデータを参考に、メニューを作成

6-4. 水使用量の削減

水使用量は、年間約18,183 m^3 で目標達成率は99%でした。（表-3）

水使用量は、前年度まで減少していたが、2017年度を100とすると今年度は101と増加した。宿泊稼働率が50%→83%と増加したことが要因の一つではないかと考えている。（表-8）（図-6）

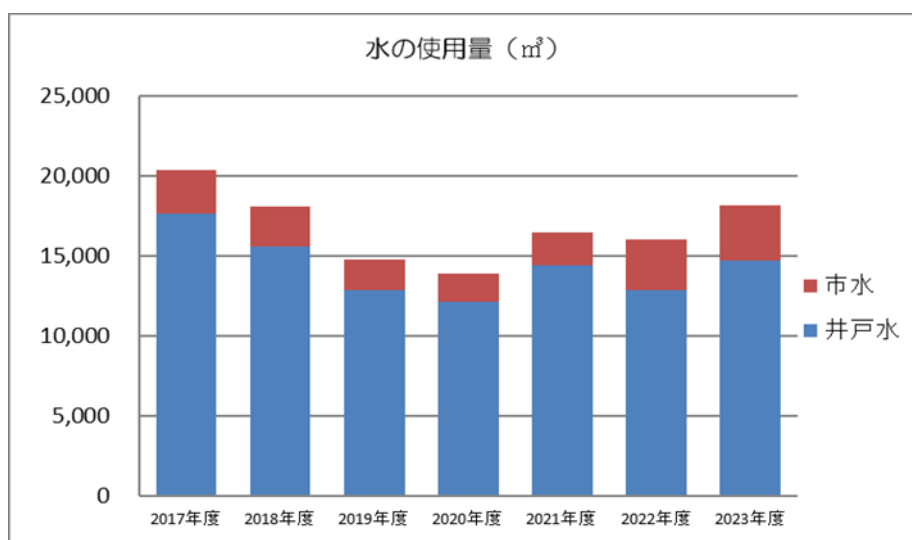
また調理部門において、流水による解凍は水の使用量も多く、流水時の注意を喚起して、水の削減に取り組んでいます。

なお、ホテルは井戸水と市水を併用しており、使用水の80%が井戸水でした。

表-8 水使用量の推移

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
水使用量（ m^3 ）	20,349	18,080	14,771	13,883	16,443	16,045	18,183
	100	89	73	68	81	79	101

図-6 水使用量



6-5. カフェ・ミュゼ

「カフェ・ミュゼ」は、北九州市立美術館にあるレストランです。

テナントのため、環境関連の数値は掴めず、環境活動計画のみ策定しました。

ホテルに比べ小さな施設ですが、従業員は環境活動を良く理解しており、ホテルと遜色なく環境活動が行われました。

6-6 SDGsへの取り組み

株式会社千草は、2013年に北九州市より「環境にやさしい事業所」に認定され、同年「エコアクション21食品リサイクル部門 環境活動レポート大賞・九州」を受賞いたしました。株式会社千草は、「SDGs（持続可能な社会目標）」への取り組みをしています。



食品廃棄物を堆肥にリサイクルしています

千草ホテルで排出される食物廃棄物を、堆肥として再生・活用する取り組みに参加しています。食品廃棄物の地域内循環サービスである「メリーズシステム」に参加することで、生ゴミを微生物に分解し、生成された堆肥を使った安全・安心な野菜づくりに貢献しています。



100%再生紙トイレットペーパーを利用しています

北九州市内で回収した古紙100%のトイレットペーパーである「エコっパー」を全館で利用しています。古紙の再利用による一般ゴミを減量し、「ごみ焼却」の環境負荷を低減して、資源の有効活用につなげています。



竹ストローや紙ストローを利用しています

千草ホテルでは通常の紙ストローに加え、生育が早く、3～4年で伐採ができ、継続的に安定した利用が可能な竹ストローも利用することで環境だけでなく、利用者の使い心地にもこだわっています。



バイオマスマーク認定を取得したアメニティを用意しています

プラスチックゴミの削減を目指した「プラスチック資源循環促進法（通称：プラスチック新法）」の施行を受け、バイオマスを利用したアメニティグッズへと切替えております。特に歯ブラシは、竹を原材料に取り入れた製品を採用いたしました。



北九州SDGs登録事業者

北九州市は、2018年6月、SDGsの達成に優れた取組みを推進する都市として、国から「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。株式会社千草は登録事業者としてSDGs達成に向けた取組みをしています。

7. 次年度の環境経営計画の内容

- ① 環境経営計画は、使用エネルギーの7割以上を占める電力に注力するとともに、都市ガスおよび重油の削減に取り組みます。
電力の削減に関しては、以下の三点を徹底します。
 - 退室時の照明、エアコンのOFF
 - 設定温度の徹底（館内・バックヤード）
 - 毎月第一木曜日のエアコン、厨房機器のフィルター掃除
- ② 夏の最大需要電力（デマンド）を抑制するため、天気予報と宴会予約状況をもとに、最大需要日を予測し、社内に注意を喚起します。
- ③ 総廃棄物削減のため、雑かみのリサイクルの推進。
- ④ お客様満足度の向上の推進（地産地消・お客様アンケートの活用）

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果及び違反・訴訟等の有無

当社が遵守しなければならない主な環境関連法規等は、次の通りです。

○廃棄物処理法 ○食品リサイクル法 ○騒音規制法 ○労働安全衛生法
○電気事業法 ○省エネ法 ○下水道法 ○フロン排出抑制法 ○消防法

それらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。
尚、関係当局よりの違反の指摘、利益関係者からの訴訟等もありませんでした。

9. 代表者による評価

弊社は環境モデル都市の北九州市にあり、環境に留意した経営は当然の責務と考えています。特にホテル業はエネルギーを多量に消費する業種であり、これまでのEA21の活動により環境負荷を削減してきましたが、同時に省エネによる水道光熱費の削減という経営上のメリットも実感しています。

EA21の活動は、今年で16年目を迎えました。前年度に引き続き今期も新型コロナウイルスの影響により、売上高が減少した為、環境負荷も減少した年となったが、売上回復とともに環境負荷も増加してきています。環境負荷軽減のため活動に真摯に取り組みたいと思っています。

一方、飲食業として食品廃棄物の発生量は年々削減し、食品廃棄物の再生利用等実施率も、8年前より100%を達成しています。EA21の活動を通じて、「持続可能な社会」を目指すSDGsの一助になればと思っています。